

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2023年 2 月 28 日

事業所名：

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・重要事項説明書に明記している。	はい 88% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 12%	・重要事項説明書の説明を丁寧に行う。
	2 職員の適切な配置	・重要事項説明書に明記している。	はい 71% どちらともいえない 6% いいえ 0% わからない 24%	・重要事項説明書の説明を丁寧に行う。 ・お知らせ等の作成を検討する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・活動状況に応じてスペースを分けている。 ・掲示物の場所や掲示方法に配慮している。	はい 76% どちらともいえない 6% いいえ 0% わからない 18%	・現状維持。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の掃除。整理整頓。 ・消毒用品の設置。 ・使用したものの消毒。	はい 94% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 6%	・現状維持。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・定期的なケース会議等を行った。 ・毎日打ち合わせを行った。		・今後も継続する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・専門家からのアドバイスを受けている。		・今後、第三者による評価を検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・月に1回程度研修を行っている。 ・適宜必要に応じて外部研修等に参加している。		・今後も継続する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・書面によるアンケートと、SM社会生活能力検査を中心にアセスメントを行い支援計画を作成している。	はい 100% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 0%	・今後も継続する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・実施している。		・今後も継続する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・実施している。	はい 88% どちらともいえない 6% いいえ 0% わからない 6%	・より分かりやすい説明をする。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・ケース会議を行い、各自に必要な療育プログラムを作成し、実施した。	はい 88% どちらともいえない 12% いいえ 0% わからない 0%	・今後も継続する。 ・分かりやすい支援を心掛ける。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・ケース会議を行い、各自に必要な療育プログラムを作成した。 ・打ち合わせを行い、療育内容を決めた。 ・指導案検討会を行った。		・今後も継続する。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・長期休暇中の利用時間の変更に対し、柔軟に対応した。		・今後も継続する。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動内容を常に検討し、子供の成長に合わせた支援を行った。	はい 65% どちらともいえない 18% いいえ 6% わからない 12%	・分かりやすい支援内容の説明を心掛ける。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・実施している。		・今後も継続する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・実施している。		・今後も継続する。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・データシステムを利用し、子どもたちの様子を記録している。 ・打ち合わせやケース会議で支援の検証や改善について話し合っている。		・今後も継続する。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・実施している。		・今後も継続する。	
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・参加している。		・今後も継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・実施できていない。		・関係機関との連携を図れるようにする。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・該当者なし。		・関係機関との連携を図れるようにする。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・実施している。		・今後も継続する。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・実施できていない。	はい 13% どちらともいえない 0% いいえ 31% わからない 56%	・コロナ収束に伴い、検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・実施できていない。		・コロナ収束に伴い、検討していく。
	保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・実施している。	はい 100% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 0%
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		・口頭での説明を行った。	はい 88% どちらともいえない 0% いいえ 12% わからない 0%	・今後はより分かりやすい説明を心掛ける。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		・年に一度専門家を招き、講演会を行っている。	はい 41% どちらともいえない 24% いいえ 12% わからない 24%	・より保護者に寄り添った支援を行っていく。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		・送迎時における家庭連携支援を行っている。 ・連絡帳での子供たちの様子の発信。	はい 82% どちらともいえない 18% いいえ 0% わからない 0%	・今後は分かりやすく具体的に伝えるように心がける。
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		・電話等での実施。 ・面談での実施はあまりできていない。	はい 65% どちらともいえない 24% いいえ 6% わからない 6%	・今後は保護者に寄り添った支援を行う。
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		・実施していない。	はい 0% どちらともいえない 6% いいえ 76% わからない 18%	・今後も予定はしていない。
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		・重要事項説明書に連絡先等の記載。 ・その都度対応している。	はい 56% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 44%	・今後はより分かりやすい説明を心掛ける。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		・必要に応じて実施している。	はい 94% どちらともいえない 6% いいえ 0% わからない 0%	・今後も継続する。
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		・SNS等を用いて適宜行っている。	はい 88% どちらともいえない 6% いいえ 0% わからない 6%	・今後も継続する。
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		・職員に対する研修の実施。	はい 82% どちらともいえない 6% いいえ 0% わからない 12%	・今後も継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・事業所内にマニュアル等は掲示している。	はい 69% どちらともいえない 6% いいえ 6% わからない 19%	・今後はより具体的な緊急時対応等マニュアルを作成し、周知に努める。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・年2回避難訓練を行った。	はい 71% どちらともいえない 0% いいえ 0% わからない 29%	・今後も継続する。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・実施した。		・今後も継続する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・契約時に保護者に説明し同意書を得ている。 ・事案が起きたら保護者に報告している。		・計画書への記載を行う。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・サポートブックに記載をお願いしている。 ・保護者に確認を行い、都度対応している。		・今後も継続する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・事案が発生すると記録を行い、その都度話し合いを行っている。		・今後も継続する。